

本校の学校教育目標  
社会力を身に付けた児童の育成  
気づき・考え・実行する熊っ子

【本年度の重点目標】  
(1) 学校経営 小規模特認校としての教育活動の特色化と社会に開かれた教育課程の実践による信頼される学校づくり  
(2) 教育指導 学力向上を目指す少人数授業の究明と学びの自立の確立

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策						
学校運営	組織	<p>学校教育目標や重点目標を意識して目的意識をもって取り組む。</p> <p>3.7</p> <p>〈結果〉 学校教育目標の実現に向けて、各活動において上級生をリーダーに「気づき・考え・実行する」を意識させて取り組んだ。</p>	<p>・体験活動について、上級生を中心にして、意欲的な活動ができています。振り返りも、1年生もしっかりとできていて、教育目標が達成できています。</p>	<p>・主務者としての責任をもって、提案・運営を行い、反省点を行事の改善に生かす。</p>						
		<p>主たる担当の校務分掌で、1か月前に提案し積極的にリーダーシップをとる。</p> <p>3.3</p> <p>〈結果〉 1か月前の運営委員会での提案はできたが、評価・改善までできなかった行事があるので、確実に実行。</p>			<p>・少ない人数の中、先生たちが協力して、役割分担ができていますと感じる。</p>	<p>・毎月時間を設定して、実績の交流を行い、反省点を踏まえた改善を行うことを徹底する。</p>				
		<p>週案を活用して授業時数を確保し、めあての達成の記入により、質的管理の実践。</p> <p>3.5</p> <p>〈結果〉 週案の提出が遅れたり提出しなかったりしたことがあった。3月を除いた授業時数の確保はできた。</p>					<p>・しっかりと授業が行われている。</p>	<p>・週案の提出・点検・評価を確実に実行し、めあてを達成するための手立ての改善を常に意識する。</p>		
		<p>体験活動は「めあて」を明確にし、児童自ら意欲を持って主体的に学ぶ学習活動とする。</p> <p>3.8</p> <p>〈結果〉 特に本年度は、感謝の心を育成することが出来た。</p>							<p>・上山田にいた時も、活動の度に熊ヶ畑に来てくれて、例年通りの活動ができた。先生方には大変ご苦労をおかけした。復興できて、地域に笑顔が戻り本当に良かった。</p>	<p>・地域の方々との連絡を大切に、児童が積極的に体験活動に取り組めるように、意欲を高める工夫を行う。</p>
		<p>総合所見</p> <p>なかなか熊ヶ畑に帰ることが出来ずに、職員も児童も保護者も不安だったのだが、復校できることを願って、「子供の笑顔を絶やさない」を目標にして、全職員が一丸となり、「気づき・考え・実行する」を実践してきた。また、本年度も多くの方々からのご心配や励ましの声や手作りの品々を頂戴し、人の心の温かさを感じながら、感謝の気持ちを育て、成就感・充実感のある教育活動を実践できた。</p>								
<p>「熊小授業の進め方（めあて[児童自ら発表]→見通し→一人学び→友だち学び→まとめ→「わがや」タイム→次時は〜）」を徹底し、児童に学び方を身に付けさせる。</p> <p>4.0</p> <p>〈結果〉 熊小授業は身につけている。振り返りも徹底できている。</p>										
<p>学力向上</p>										

学 校 運 営	学	丁寧な文字指導（ノート指導、作文指導、ひらがなや漢字の指導等）を行い、児童に身についたか。	3.0	・なかなか時間が取れないかもしれないが、きれいよりも丁寧さを大切にして指導をしてください。	・朝学習や補充学習などの時間も個別の見取りを丁寧に行い、文字の指導を徹底する。丁寧に書く習慣をつけさせる。
		〈結果〉 特に低学年は、丁寧な文字指導の徹底ができなかった。作文等の提出だけではなく、ノート等毎日の指導を怠りなく行う。			
	力	学習規律を確立させる。（チャイム・聞き方・発表の仕方・姿勢・忘れ物〇・筆箱の中身）	3.6	・忘れ物をしないことは大切なので徹底させてください。	・忘れ物ゼロが徹底できない。「つい、うっかり」をなくすための個に応じた、新たな工夫・手立てが必要である。
		〈結果〉 保護者にも協力してもらい、忘れ物ゼロを徹底させる。			
	向	立ち止まったあいさつ、心に響く返事、適切な言葉遣い、後片付け、学校の約束を徹底し、児童の規範意識を醸成する。	3.6	・あいさつはよくできていて、いつ来ても気持ちが良い。学校外であったときもあいさつをしてくれる。	・あいさつ・言葉遣いは、教師が引き続き同じ方向で取り組む。 ・心に響く返事は、日頃の呼び掛けについてまで、徹底して行いたい。
		〈結果〉 立ち止まった挨拶、適切な言葉遣いは、できているが、返事の意識化ができていない。			
	運	家庭学習定着率90%以上を達成し、書き直しややり直しを徹底させる。	3.9	・家庭での学習は、しっかりと話し合っ、保護者への協力態勢を今まで以上にとってもらいたい。	・家庭学習は、特定の児童が時々できていないので、個別の手立てが必要である。
		〈結果〉 定着率90%を達成できた。書き直し・やり直しも全員できた。			
	上	児童の実態に応じた補充学習により、弱点を克服する。	3.6	・テストの結果等から、しっかりとできていると感じる。	・長文の問題に弱点があるので、しっかりと読ませる学習を更に取り入れなければならない。
		〈結果〉 教務を中心に、個別の分析による実態合わせた学習課題を準備し、学力の向上につなげることができた。			
営	読書活動を質的量的に高める。（めざせ〇〇冊・〇〇ページ、おすすめの本、家庭読書）	3.3	・読書は、全体的には良く読めているが、子どもによっては貸し出し冊数が少ない子もいるようなので、しっかり読ませてほしい。	・図書貸し出しは、個人差が大きい。特に高学年は、学級でも読書会を開くなど、読書を意識させる。	
	〈結果〉 週末読書を取り入れたたり、毎週月曜日の朝活動を読書にしたりして、読書量を増やすことが出来た。また、委員会による読み聞かせや本の紹介を通して、貸し出し冊数の達成はできた。				
営	通信等を通して、保護者・地域に情報を発信する。	3.7	・通信等によって、学校での様子が良く発信できており、よく連携ができています。	・通信による発信は良くできている。情報教育支援員の先生にホームページの更新を行うようにする。	
	〈結果〉 学級通信や保健だよりを通して、学校での児童の様子や各活動のお礼などを写真を交えて発信できた。				
営	家庭学習頑張りカード保護者コメント90%以上を達成する。	3.6	・保護者への働きかけをさらにお願ひします。	・忘れ物ゼロに向けて、頑張りカードの活用を図りたい。	
	〈結果〉 ほぼ達成ができた。ゲームの時間についても記入させたため、保護者も時間の把握ができ、成果があった。				
総合所見	学力向上を目指す授業づくりの熊小授業については、全員が4の評価をするほど徹底して行うことが出来、児童にも定着している。また、「学力向上検証サイクル」の確実な循環を目指して、各検査結果の考察・分析・改善を行い、個に応じたきめの細やかな手立てを立てて実践を継続している。学力の基盤づくりのための補充学習（朝の活動・昼チャレンジ・補充タイム）、家庭学習、授業規律の確立にも計画的に継続的に取り組み一定の成果を上げている。文字指導・読書指導に課題があるため、来年度は重点的に取り組まなければならない。				

学 校 経 営	体 力 向 上	外遊び等を奨励し、体力アップシートを活用して児童の体力向上を図ったか。	3.0	・体力をしっかりとつけてほしい。	・登校時の歩く距離をもう少し長くできるように保護者に呼びかける。 ・体力アップシートへの記録の時間を確保する。
		〈結果〉熊ヶ畑に帰ってからは、良く外遊びができています。なわとび月間も、よくできた。体力アップシートへの記入も行った。			
	総合 所見	「早寝・早起き・朝ごはん・少ゲーム」の取り組みを推進する手立てを講じたか。	3.6	・テレビやゲームの時間を含めて、生活習慣の確立を保護者と協力して進めてほしい。	・ゲームの時間の記入を継続する。 ・朝ごはんの質の向上を呼び掛ける。
		〈結果〉節目の取組結果の公表を行った。家庭による差がある。毎日のゲームの時間の記入は効果があった。			
		上山田にいる間も、運動場でサッカーをしたり、外遊びをしたりできるようになった。熊ヶ畑に帰ってからは、中休み・昼休みと全学年で外遊び（鬼ごっこ）を楽しんでいた。特に1年生が初めてなので、上学年に交じて走り回っていた。登下校は、熊ヶ畑に戻ってからは、良く歩いて登校していた。早寝・早起きはだいたい定着しているが、朝ごはんは菓子パン1個やデザートだけなどがあるため、内容の充実を保護者にお願いしたい。ゲームの時間の記入は、かなり効果があり、ゲーム時間が少なくなってきたため、継続して取り組みたい。			
豊 か な 心 の 育 成	豊 か な 心 の 育 成	自ら範を示し、日常の挨拶や返事、丁寧な言葉遣いについて指導し、児童相互・児童と教師の好ましい人間関係を構築したか。	3.9	・必ず君やさんをつけて名前を呼んでいることはとても良いことだと思う。相手思いやる心を育ててください。	・あいさつ、返事、言葉遣いについて、継続して教師が範を示す。 ・授業中に呼名された時の返事を心がけさせる。
		〈結果〉叱るときも児童を大切にしている言葉遣いに留意し、言語環境の整備に心がけた。			
	豊 か な 心 の 育 成	特別の教科道徳の時間において教科書を活用し、指導と評価を充実させたか。	3.7	・子ども同士の関係が良く、微笑ましく思える。しっかり道徳心を育ててほしい。	・道徳の時間を充実させるために、さらに、教材の研究、精選を行う。
		〈結果〉カリキュラムを基本としながら、児童の様子に合わせて、単元を入れ替えて実践した。			
	豊 か な 心 の 育 成	いじめ防止、早期発見・対処について常に気を配り取り組んだか。	3.8	・いじめは、どこでも起きると言われているので、常に気を抜かずに取り組んでもらいたい。	・関係性が良くなるほどに、ついつい言ってしまう言葉などを見逃さず、即時即場の対応に留意したい。
〈結果〉1学期に3件のいじめを認知し、その後の観察を丁寧に言い再発を防止できた。					
	総合 所見	自分を大切にするのと同じように、相手を大切にすることは育ってきているとは思いますが、比較されたり、自分との利害関係が関わったりするとどうしても自分中心となり、相手のことまで思いが及ばない発言や行動がでてくる。それを見逃さず。しっかりと心に届く言葉で、児童の身になって指導や説諭を行いたい。また、道徳の時間には、児童の気持ちを揺さぶる教材の研究を行い、授業と日常とがかけ離れないように、工夫した授業づくりが求められる。			

学 校 経 営	主 題 研 修	<p>国語科複式・少人数授業に係る主題研究を積極的に推進したか。</p> <p>〈結果〉1学期だけしか研究授業が行えなかったが、複式授業研究は継続して行うことが出来た。</p>	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>複式の授業は難しいのに良く努力をしていただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間2回の公開授業を実施し、新教科書への対応をしっかりと行いたい。</li> </ul>
		<p>積極的な校外研修への参加や文献による資料収集を行い日常の教育活動に生かしたか。</p> <p>〈結果〉学期末の還流研修会を行い、各人が学んだことをしっかりと伝え、学び合うことができた。</p>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方が良く学ばれていると感心した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ時の強い印象を他の職員へ伝えることが出来るので、学期末ではなく、毎月行うことが望ましい。</li> </ul>
	総合 所見	<p>引越を控えて、2学期・3学期の行事を引き続き行わなければならない、主題研究の授業研究が1学期にしか行うことが出来なかった。しかし、複式授業は、継続して行った。今年の実績と課題をしっかりと来年に引き継ぎ、3年後の市の発表につながる初年度としなければならない。還流学習会は、学んだ事を全職員の物にできるので、非常に有効である。是非とも継続させ、人的に厳しい中で、研修を受けた者も学校に残って頑張った者も全員が良かったと思える研修にできると、研修意欲がさらに向上する。また、本年度は多忙だったため、長崎大や広島大等への研修に派遣できなかったが、複式授業の先進校を学ぶ研究発表会への参加を、来年度はぜひ行いたい。</p>			
	環 境 構 成 等	<p>児童の安全確保・安全管理に努め、緊急対応マニュアルを熟知し、実働できるようにしているか。</p> <p>〈結果〉復興後すぐに安全点検を全職員で行い、防犯カメラの位置変更を行った。避難訓練をすぐに実施した。</p>	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全への配慮をしっかりとお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新熊ヶ畑小の安全・防犯確認を常に行い、最善を尽くす。</li> <li>遊具の点検等を怠りなく行う。</li> </ul>
<p>教室や廊下の掲示物や作品には、学習の振り返りや達成感、発展を促す工夫を行ったか。</p> <p>〈結果〉新熊ヶ畑小も学習環境整備をしっかりと行い、児童の学ぶ意欲は、さらに高まった。</p>		3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が過ごすうえで安心できるような掲示物の工夫がされている。</li> <li>今年も作文や絵画等への入賞者の多さは、すごい。先生方の指導に感謝します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の作品や体験活動の様子、成果など次の学習への意欲を喚起できるような学習環境の整備を心がける。</li> </ul>	
総合 所見		<p>環境面に関しては、上山田小学校においても、新熊ヶ畑小学校においても、児童の学習意欲が高まるように職員が良く頑張って環境整備をしてくれた。そのおかげで、児童は勉強にも運動にも外遊びにも笑顔が絶えなかった。自分たちのために一生懸命に準備をしてくれた先生方に応えるように、児童は本当によく頑張ってくれたので、教師もやりがいを感じる事が出来た。</p> <p>安全面では、上山田小学校と教務同士がしっかりと連携し、避難訓練等を行うことができた。新熊ヶ畑小でも復帰後すぐに避難訓練を行い、毎月の安全点検も行っている。防犯カメラは、山田室長のアドバイスにより、運動場からの階段に設置場所を変更した。危険箇所等について、今後も全職員で点検し、安全の確保に努めたい。</p>			